

時代の転換点に気づこう

感想より： スマホを使用させる際には、その子どもとしっかりと話し合い、子ども自身が納得のできるルールを決めてもらうことが大切だと感じました。また、子どもの個人差を配慮してその子に合ったルール決めの方法が大切だと考えました。ですが、スマホは依存してしまう可能性がとても高いので、ルールだけでなく、親側がスマホの危険性についても知っておくことが大切だと感じました。

→

そうですね。確かに、数年前までは「家庭でのルール作り」ばかりが強調されていました。しかし、それだけでは足りないので、**2023年頃より、世界では急激に考え方方が変わっています。**新世代の保護者としては、ここはしっかり押さえておきましょう！

Q: スマホはよくないと言われているけど、実際どうなの？ 最近条例や法律もできたらしいし…。

A: 今までは、家族でルールを作り上手に使えるように子どもを教育しようとしてきました。

しかし最近は、スマホを使うとルールがあっても脳や精神への悪影響が避けられないと判明しました。
また良い治療法もありません。

そこで、海外では **子どもの使用自体を制限する必要がある**と考えられるようになりました。

具体的には次のような動きがあります。

2021年11月 中国、未成年のフォートナイト(オンラインゲーム)禁止。

2023年 8月 スウェーデン、タブレットの教科書を紙に戻す決定 (フィンランド・オランダも紙の教科書に)

2024年11月 豪議会、16歳未満のSNSとYouTubeを禁止する法案可決

【クイズ】

Q: 海外でスマホをわざわざ規制する法律が増えている意味は？

オーストラリアでは、16歳未満のSNSと(a.)の使用を禁止する法律が成立した。これは、子どもの安全や脳の成長を守るには、家庭でルールを作ったり、学校でリテラシー教育を行うなどだけでは(b.)である、と国が認めたことを示す。多くの保護者は歓迎している。これらの使用をめぐり親子の対立が絶えなかったからである。

スウェーデン・フィンランドなどでは、タブレットの教科書から紙に戻す動きが始まった。

公共教育に用いられるという、最も(c.)で有益であるはずの教育用タブレットであっても、成績が下がるばかりか精神病や障害が増えると判明したからである。自動車で言えば(d.)と同じ、重大な政策転換といえる。

解説例 a. YouTube b. 不十分 c. 安全 d. ひじ一ひ

海外では、脱ICT教育に続き、いよいよ「スマホなしの子供たちがあたりまえ」になりつつあります。

脱ICT教育

https://c6db7915-f4bc-4e25-8920-658f618386ef.filesusr.com/ugd/033ca4_5268d28f0a994c03a385201a0938b12e.pdf

「スマホを持たない子、当たり前の時代来る」 豪、「16歳未満のSNS利用制限」世界初の法律10日施行

有料記事

2025年12月3日 16時30分



ヘイルスクールに通う7年生（12～13歳）の生徒たち。校則に倣いスマホを持っておらず、「スマホがなければ、SNSにこだわることはない」と話す=10月30日、パース、河野光汰撮影

世界で初めて、16歳未満のSNS利用を制限する法律がオーストラリアで12月10日に施行される。利用を制限するための年齢確認の徹底は難しく、法律は「抜け穴だらけ」との指摘がある一方、賛同する声も多い。法律の施行を待たずに、校則でSNSの利用やスマートフォンの所有を禁止する学校も出てきた。

法律の施行を待たずに、
校則でスマホの所持を禁止する
学校も出てきた

朝日新聞 2025年12月3日 <https://www.asahi.com/articles/DA3S16357032.html>

デジタル障害から子供を守る 諸外国の対策

- 2013年に発表されたドキュメンタリー映画 Web Junkie
 - 中国のネット依存患者の治療施設を取材。
 - 強制的に連れてこられた若者が軍隊的な集団生活をしながら、投薬・精神療法・ネット以外の時間の過ごし方を学ぶ。
 - こうした施設は中国に400か所以上ある。
 - 中国はここまでやったが、結局、2021年に未成年のオンラインゲームの厳しい規制に舵を切った。

★ 依存症による治療法はない。予防が大切。

